## E 金属の製錬

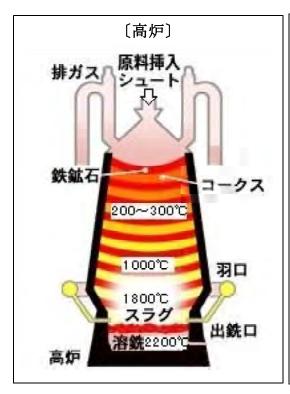
製錬とは … 金属の化合物 (酸化物 、硫化物 )から金属単体を取り出すこと

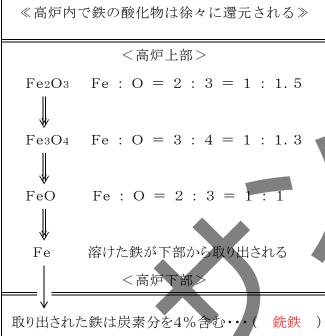
- (1) 鉄の製錬 酸化鉄の( 還元 )
- ① 原料 鉄鉱石 … 磁鉄鉱( Fe3O4 ) や赤鉄鉱( Fe2O3 ) などの鉄の酸化物
- ② 方法 ( コークス (C) )を用いて、鉄の酸化物を還元する

鉄鉱石に含まれる不純物を除去するために石灰石  $(CaCO_3)$  を加える。石灰石によって取り除かれた不純物を ( スラグ ) という。

- ③ 装置 溶鉱炉( 高炉 ともいう)
- ④ 反応 → CO (還元剤)

 $Fe_2O_3 + 3CO \rightarrow 2Fe + 3CO_2$ 





**ォ**そのまま冷却すると鋳鉄(ちゅうてつ) … かたくてもろい (鋳物になる)

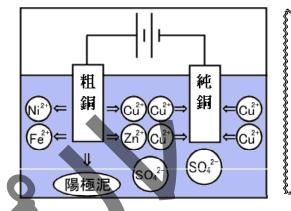
→ 転炉で熱風を送り炭素分を減らす … 鋼(炭素分0.02~2%)→ 圧延で棒状・板状

- ① 銀白色の金属、展性・延性大(鉄板、はりがね)、強磁性体(磁石になる)
- ② 空気中で酸化される(黒さび … 磁鉄鉱 Fe3O4、赤さび … 赤鉄鉱 Fe2O3)
- ③ 希塩酸、希硫酸と反応して水素を発生する。濃硝酸や熱濃硫酸と反応せず不動態を作る
- ④ 塩基とは反応しない(両性元素ではない)
- ⑤ 鉄のイオン … Fe<sup>2+</sup> (淡緑色)、Fe<sup>3+</sup> (黄褐色)

## (2) 銅の製錬 銅の( 電解精錬 )

- 原料 銅鉱石 … 黄銅鉱 (CuFeS2)
- 方法 ( 粗銅 )を陽極、純銅を陰極、硫酸銅(Ⅱ)水溶液を電解液にして電気分解 <粗銅の作り方>  $SO_2$

黄銅鉱 → (石灰石やけい砂を混ぜて加熱) 硫化銅(I)Cu2S → (空気中で加熱)粗銅



<陽極(粗銅板)の変化>

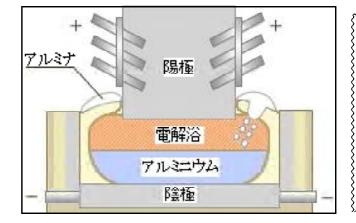
$$Cu \rightarrow Cu^{2+} + 2e^{-}$$

<陰極(純銅板)の変化>

$$Cu^{2+} + 2e^{-} \rightarrow Cu$$

- <粗銅中に含まれる不純物(AgやAuなど)>
- ⇒ 粗銅からはがれ落ちて、陽極の下に沈殿 ( <mark>陽極泥</mark> ) という

- ① 赤銅色の金属、熱や電気の良導体、合金(黄銅、青銅、白銅)が多い
- ② 主な銅の化合物 酸化銅(I) Cu2O、酸化銅(II) CuO、硫酸銅 CuSO4 水酸化銅(Ⅱ) Cu(OH)2 (青白色の沈殿)、緑青(ろくしょう)
- ③ 希塩酸、希硫酸、塩基とは反応しない。酸化力のある酸(硝酸、熱濃硫酸)と反応
- ④ 銅のイオン … Cu<sup>+</sup>(化合物により様々な色)とCu<sup>2+</sup>(青色)
- **(3) アルミニウムの製錬** アルミニウムの ( 融解塩電解 ) ( エルー・ホール 法)
- 原料 ボーキサイト(Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>·nH<sub>2</sub>O)
- ② 方法
- ボーキサイトを精製し( アルミナ )(純粋な酸化アルミニウム Al2O3)を作る
- ・ アルミナは融点が高い(2000℃)ので、融点を下げるために( <mark>氷晶石</mark> )Na3AlF6 を加える・ この混合塩を融解し、炭素電極を用いて電気分解して、陰極にアルミニウムを析出させる



〔参考〕アルミニウムの性質 ~~~~~

- ① 銀白色の金属、展性大(アルミ箔)
- ② 熱や電気の良導体(金属では4位)
- ③ 空気中で酸化される(Al2O3の被膜)
- ④ 燃焼すると強烈な光(フラッシュ)
- ⑤ 酸とも塩基とも反応(両性元素)
- ⑥ 濃硝酸とは反応しない(不動態)